

# 情報連絡員総括表（平成30年5月）

## － 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の景気動向
  - 1) 業界の経営動向
  - 2) 主要三指標における DI 値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告（回答者数 60 名：回収率 100%）

- 平成30年5月のDI値は、「在庫数量」「設備操業度」を除く7指標が基準値（±0.0）を下回った。主要3指標（「売上高」「収益状況」「業界の景況」）は、前月との比較において「売上高」は悪化、「収益状況」「業界の景況」は改善した。
- 「製造業」では、前月との比較において全9指標中「売上高」「在庫数量」「取引条件」「資金繰り」の4指標が悪化する結果となった。
- 「非製造業」では、前月との比較において全8指標中「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」の3指標が改善した。特に「在庫数量」においては、前月と比較すると-30.8ポイントと、大幅な改善となった。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
H30.5	-13.3	-4.7	-1.7	-10.0	-13.4	-13.3	3.3	-6.6	-16.6
H30.4	-10.0	-4.7	-1.7	-5.0	-21.7	-10.0	3.3	-6.6	-18.4
差	-3.3	0.0	0.0	-5.0	8.3	-3.3	0.0	0.0	1.8

◎今月の業界状況をDI値で見ると、

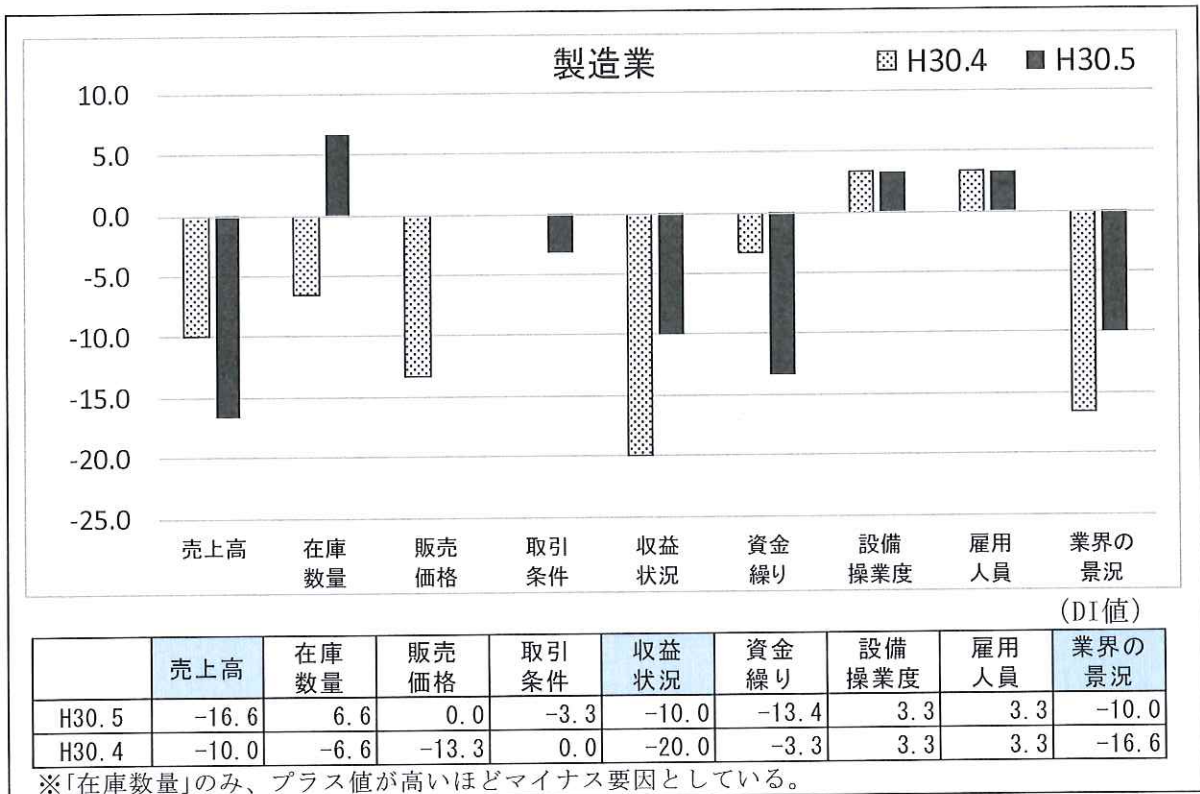
主要3指標のDI値は、売上高 -13.3、収益状況 -13.4、業界の景況 -16.6 となり、すべての指標が基準値（±0.0）を下回った。

前月との比較においては、「売上高」が3.3ポイント悪化、「収益状況」が8.3ポイント改善、「業界の景況」が1.8ポイント改善となった。

全体的には、「収益状況」「業界の景況」の2指標が前月から好転し、「売上高」「取引条件」「資金繰り」の3指標は悪化した。

◎前月・今月の前年同月比DI値を比較すると、(製造業・非製造業別)

【製造業】



製造業では、

主要3指標のDI値は、売上高 -16.6、収益状況 -10.0、業界の景況 -10.0となった。  
前月との比較においては、「売上高」「在庫数量」「取引条件」「資金繰り」の4指標が悪化する結果となった。

◎自由回答より

(水産食料品製造業)

- ・副資材、運送費等の値上げが相次ぎ、本業界では経費増になる分を商品自体に転嫁しきれず、収益性が低下し苦しい状況にある。もっと消費が伸びていくための施策等に期待したい。

(織物業)

- ・相変わらずパツとしない状況。毎年のことだが連休もあり、売上が減少している。

(宗教用具製造業)

- ・先の見通しが立たず、景況は一段と厳しいものとなってきている。

(製材業、木製品製造業)

- ・メインの機械故障が長引き、工場の操業度がかなり減少している。

(木材・木製品製造業)

- ・新設住宅着工数は10ヶ月ぶりに前年対比で増加した。しかしながら組合・組合員ともに好

況感はない。

(パルプ・紙・紙加工品製造業)

- ・製紙大手も書籍、雑誌、コピー用紙等の洋紙から、トイレ紙等の家庭紙への転換をしてきており、これによって新設備がこれから稼働する。各中小の製紙会社への影響、動向が注視される。

(セメント・同製品製造業)

- ・前年と同様、出荷は低調であり、今年度は10%減を見込んでいる。原材料の値上げ要請があるが難しい。

(金属製品製造業)

- ・売上は前年比で数%増加しているが、原材料高で収益状況は悪化している。
- ・新規受注が増えた。

(生産用機械器具製造業)

- ・受注環境良好な中、採算割れとなるリピート品等の取引条件を見直す良い時期と捉え、価格アップの交渉等、収支改善策を講じている組合員がある。

(電気機械器具製造業)

- ・4月以降、家庭用・業務用のエアコンの出荷が好調に推移しており、生産も増産基調。一方で人手不足は相変わらず継続している。

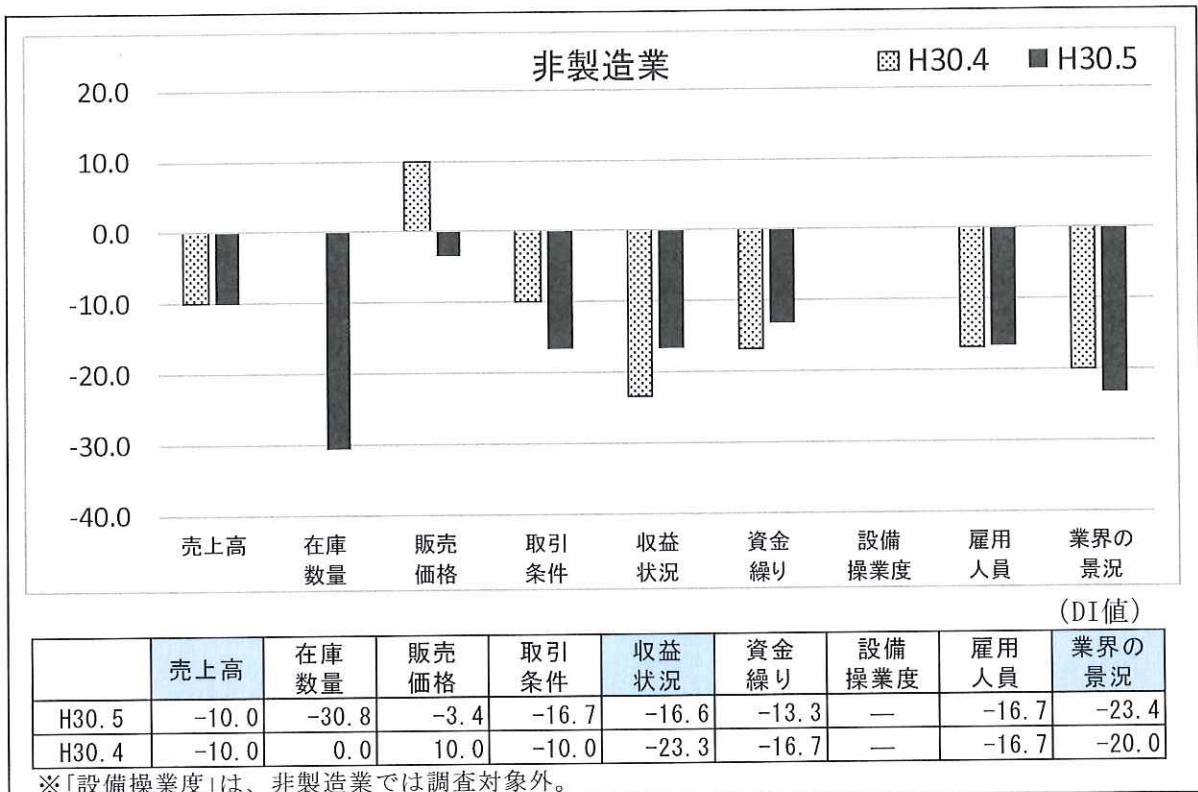
(輸送用機械器具製造業)

- ・新しい課題として、設備を導入してもエンジニアの人手不足で予定通り稼働できない状況が生じてきている。
- ・人手不足対策として省人化、自動化を進めようとしているが、設備メーカーが多忙で希望する納期に間に合わないケースが出ている。

(その他の製造業)

- ・人材確保が難しく、業績にも影響が出ている。

【非製造業】



非製造業では、

主要3指標のDI値は、売上高 -10.0、収益状況 -16.6、業界の景況 -23.4 と、全ての指標がマイナスで推移しており、前月との比較においては「売上高」が横ばい、「収益状況」が6.7ポイントの改善、「業界の景況」が3.4ポイントの悪化となっている。

◎自由回答より

(セメント卸売業)

- ・例年4月、5月は公共関係の出荷は低調であるが、昨年が悪すぎた反動により、なんとか前年同月実績を2ヶ月連続で上回ることができた。

(機械器具小売業)

- ・白物商品に回復の兆しがみられ、夏物商戦に向け順調に進んできている。

(商店街)

- ・年金支給の前の月であることから購買力がなく、売上が減少してしまった。
- ・5月3日、4日に開催した「サンバカーニバル」は、去年から来街者が減少している。マンネリ化なのか魅力がなくなっているのか今後検討していく。5月5日に開催した「子どもゼミな〜る」は、2回目の開催となるが、お店の人とのふれあいができ、10年後のファンを育てることができた。
- ・ゴールデンウィークはイベント等を行い、かなり賑わいをみせていたが、集客が売上に結びつかないことが課題である。

#### (不動産取引業)

- ・消費者（購入者）の不動産に対する選別眼が本当に上がっている。ネットで大量の情報、知識を得ることができ、さらに地方での不動産供給過剰、地価下落で購入（決断）までに非常に時間がかかっている。

#### (宿泊業)

- ・ゴールデンウィーク明けから低調。ガソリンや食品の値上がりで、レジャーへの消費が自粛傾向。6月の予約も伸び悩んでいる。

#### (総合工事業)

- ・燃料の高騰と人手不足で厳しい状況である。人材不足をカバーするためか、国交省は、下請け企業の主任技術者の配置要件を緩和した「下請共同施工制度（仮称）」の創設を検討している。同じ業種の上位下請けが下位下請けの主任技術者の業務範囲をカバーすることで、下位下請けの主任技術者の配置要件が緩和されれば、繁忙期の労務提供が緩和され、繁忙期の労務提供が円滑になり、下請け間の重層化を回避する効果が期待できる。建設業法の技術者制度では、500万円以上の工事を請け負う全ての下請けに主任技術者の配置を義務付けている。2次以下の下請けでも同様で、この制度が創設されれば現場の生産性向上や技術者の働き方改革につながる。
- ・時期的に発注量が少ない。今後を期待する。

#### (道路貨物運送業)

- ・5月の大型連休後も荷動きは低調で車両不足も続いている。また、燃料は半年前と比較して15円程度も値上がりし、収益を圧迫してきている。
- ・軽油価格の高騰により、経営を圧迫している。
- ・海外情勢により原油先物や軽油価格が上昇している。
- ・人手不足に伴い、撤退する同業者の仕事の受け入れで人員が増加している。

## 2. 項目別の景気動向 (前年同月比DI値のH30.4~H30.5における推移)

### <売上高>

DI値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	-16.6	6.6ポイント低下	-10.0	0.0ポイント同値	-13.3	3.3ポイント低下
H30.4	-10.0		-10.0		-10.0	

売上高における全体のDI値は、前月より3.3ポイント低下し-13.3。

**製造業** は、前月より6.6ポイント低下し-16.6。「増加」した先は対象先30件の内5件で、鉄鋼・金属工業が2件、一般機器、電気機器、輸送用機器が各1件。「減少」した先は10件で、木材・木製品が4件、繊維工業が3件、食料品、印刷、輸送用機器が各1件であった。

**非製造業** は、前月と同値で-10.0。「増加」した先は対象先30件の内7件で、運輸業が3件、卸売業、小売業、サービス業、建設業が各1件。「減少」した先は10件で、商店街で3件、小売業、建設業が各2件、卸売業、サービス業、運輸業が各1件であった。

### <在庫数量>

DI値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	6.6	13.2ポイント悪化	-30.8	30.8ポイント好転	-4.7	0.0ポイント同値
H30.4	-6.6		0.0		-4.7	

在庫数量における全体のDI値は、前月と同値で横ばい。

**製造業** は、前月より13.2ポイント悪化し6.6。「増加」した先は対象先30件の内4件で、繊維工業、木材・木製品、一般機器、電気機器が各1件。「減少」した先は2件で、木材・木製品、輸送用機器が各1件であった。

**非製造業** は、前月より30.8ポイント好転し-30.8。「増加」した先はなく、「減少」した先は4件で、小売業が2件、卸売業、商店街で各1件であった。

## <販売価格>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	0.0	13.3 ポイント上昇	-3.4	13.4 ポイント低下	-1.7	0.0 ポイント同値
H30.4	-13.3		10.0		-1.7	

販売価格における全体のDI 値は、前月と同値で横ばい。

**製造業** は、前月より 13.3 ポイント上昇し 0.0。「上昇」した先は対象先 30 件の内、木材・木製品の 1 件。「悪化」した先は木材・木製品の 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 13.4 ポイント低下し -3.4。「上昇」した先は対象先 30 件の内 4 件で、小売業が 2 件、商店街、運輸業が各 1 件。「悪化」した先は 5 件で、サービス業が 2 件、卸売業、商店街、建設業が各 1 件であった。

## <取引条件>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	-3.3	3.3 ポイント低下	-16.7	6.7 ポイント低下	-10.0	5.0 ポイント低下
H30.4	0.0		-10.0		-5.0	

取引条件における全体のDI 値は、前月より 5.0 ポイント低下し -10.0。

**製造業** は、前月より 3.3 ポイント低下で -3.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、鉄鋼・金属工業、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 3 件で、食料品、繊維工業、木材・木製品が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 6.7 ポイント低下し -16.7。「好転」した先はなく、「悪化」した先は対象先 30 件の内 5 件で、卸売業、小売業、サービス業、建設業、運輸業が各 1 件であった。

## <収益状況>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	-10.0	10.0 ポイント上昇	-16.6	6.7 ポイント上昇	-13.4	8.3 ポイント上昇
H30.4	-20.0		-23.3		-21.7	

収益状況における全体のDI 値は、前月より 8.3 ポイント上昇し -13.4。

**製造業** は、前月より 10.0 ポイント上昇し -10.0。「好転」した先は対象先 30 件の内 6 件で、輸送用機器が 3 件、鉄鋼・金属工業、電気機器、その他が各 1 件。「悪化」した先は 9 件で、木材・木製品が 3 件、繊維工業が 2 件、食料品、紙・紙加工品、鉄鋼・金属工業、輸送用機器が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 6.7 ポイント上昇し -16.6。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、小売業、運輸業が各 1 件。「悪化」した先は 7 件で、運輸業が 2 件、卸売業、小売業、商店街、サービス業、建設業が各 1 件であった。

## <資金繰り>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	-13.4	10.1 ポイント低下	-13.3	3.4 ポイント上昇	-13.3	3.3 ポイント低下
H30.4	-3.3		-16.7		-10.0	

資金繰りにおける全体のDI 値は、前月より 3.3 ポイント低下し -13.3。

**製造業** は、前月より 10.1 ポイント低下し -13.4。「好転」した先は対象先 30 件の内、輸送用機器の 1 件。「悪化」した先は 5 件で、繊維工業、木材・木製品が各 2 件、食料品が 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 3.4 ポイント上昇し -13.3。「好転」した先はなく、「悪化」した先は対象先 30 件の内 4 件で、卸売業、小売業、商店街、サービス業が各 1 件であった。



### <設備操業度> ※製造業のみ

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	3.3	0.0 ポイント同値			3.3	0.0 ポイント同値
H30.4	3.3				3.3	

設備操業度におけるDI 値は、前月と同値で横ばい。

「上昇」した先は対象先 30 件の内 7 件で、鉄鋼・金属工業、一般機器、輸送用機器が各 2 件、電気機器が 1 件。「悪化」した先は 6 件で、木材・木製品が 3 件、繊維工業が 2 件、食料品が 1 件であった。

### <雇用人員>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	3.3	0.0 ポイント同値	-16.7	0.0 ポイント同値	-6.6	0.0 ポイント同値
H30.4	3.3		-16.7		-6.6	

雇用人員における全体のDI 値は、前月と同値で横ばい。

**製造業** は、前月と同値で 3.3。「増加」した先は対象先 30 件の内 7 件で、木材・木製品、輸送用機器が各 2 件、食料品、一般機器、電気機器が各 1 件。「減少」した先は 6 件で、食料品、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品、一般機器、輸送用機器が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月と同値で -16.7。「増加」した先は対象先 30 件の内、運輸業が 3 件。「減少」した先は 8 件で、小売業、運輸業が各 2 件、卸売業、商店街、サービス業、建設業で各 1 件であった。

### <業界の景況>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H30.5	-10.0	6.6 ポイント上昇	-23.4	3.4 ポイント低下	-16.6	1.8 ポイント上昇
H30.4	-16.6		-20.0		-18.4	

業界の景況における全体のDI 値は、前月より 1.8 ポイント上昇し -16.6。

**製造業** は、前月より 6.6 ポイント上昇し -10.0。「好転」した先は対象先 30 件の内 3 件で、輸送用機器が 2 件、鉄鋼・金属工業が 1 件。「悪化」した先は 6 件で、繊維工業、木材・木製品が各 2 件、食料品、印刷が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 3.4 ポイント低下し -23.4。「好転」した先は対象先 30 件の内、サービス業の 1 件。「悪化」した先は 8 件で、卸売業、小売業が各 2 件、商店街、サービス業、建設業、運輸業が各 1 件であった。

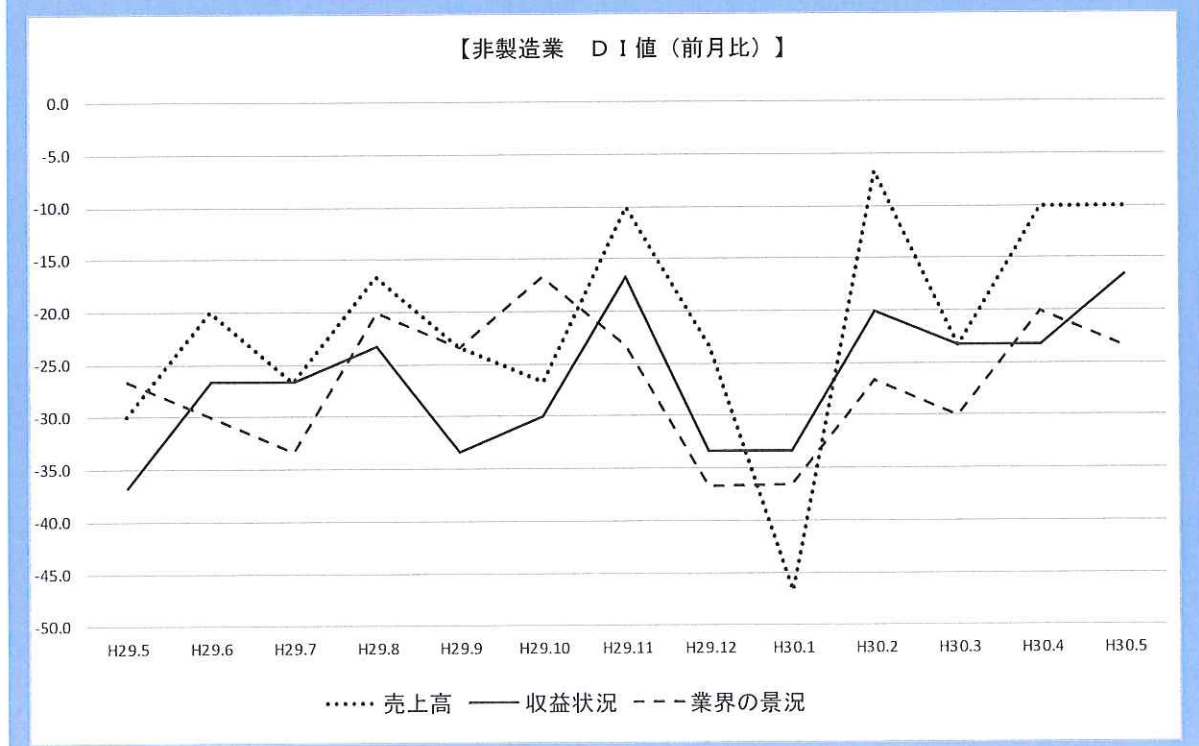
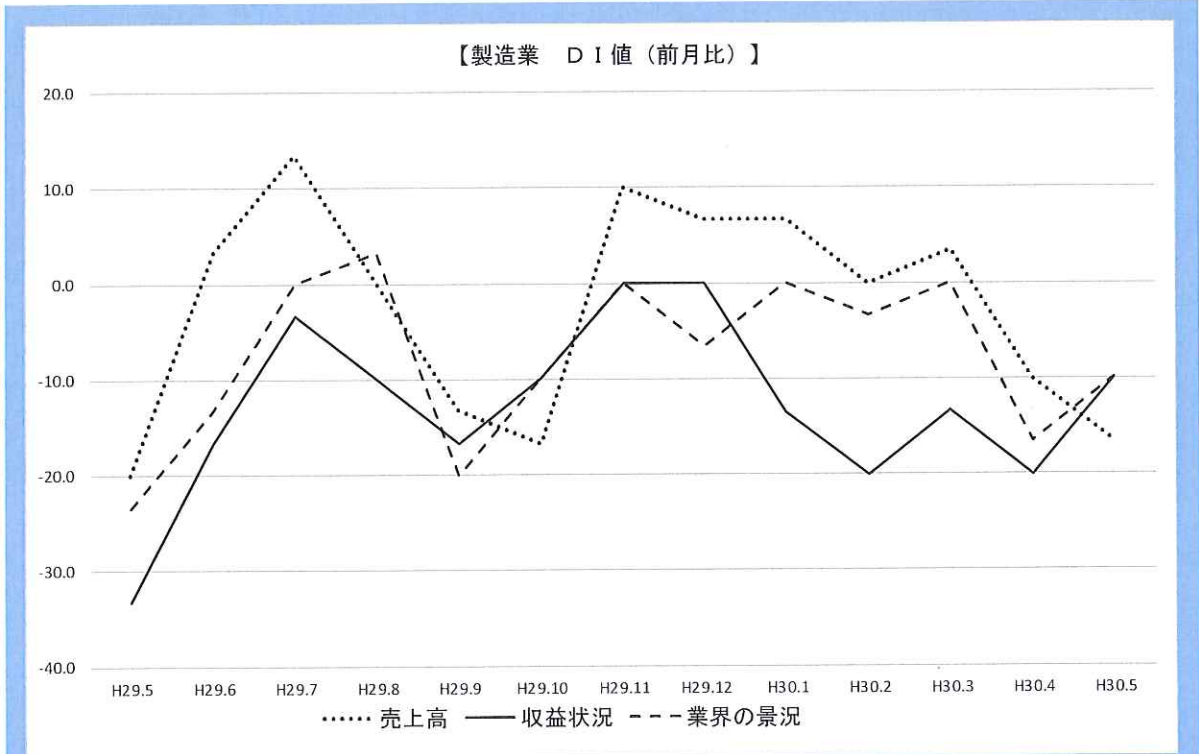
以上

■ 平成29年5月期～平成30年5月期までの推移

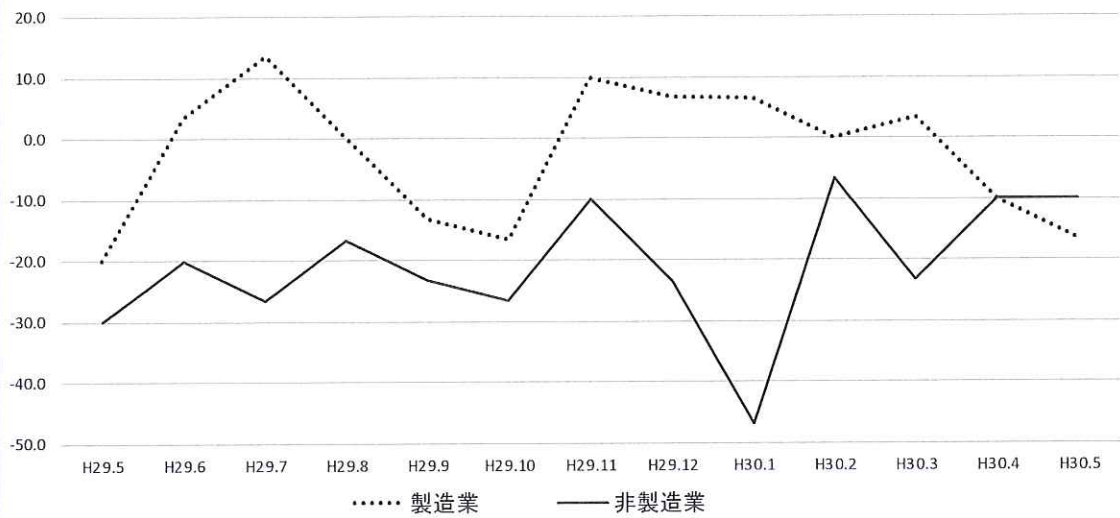
全体	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5
売上高	-25.0	-8.3	-6.7	-8.3	-18.4	-21.6	0.0	-8.3	-20.0	-3.4	-10.0	-10.0	-13.3
収益状況	-35.0	-21.7	-15.0	-16.6	-25.0	-20.0	-8.4	-16.7	-23.3	-20.0	-18.4	-21.7	-13.4
業界の景況	-25.0	-21.6	-16.7	-8.3	-21.7	-13.3	-11.7	-21.7	-18.4	-15.0	-15.0	-18.4	16.6

製造業	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5
売上高	-20.0	3.3	13.4	0.0	-13.3	-16.7	10.0	6.7	6.6	0.0	3.4	-10.0	-16.6
収益状況	-33.3	-16.7	-3.3	-10.0	-16.7	-10.0	0.0	0.0	-13.4	-20.0	-13.3	-20.0	-10.0
業界の景況	-23.4	-13.3	0.0	3.3	-20.0	-10.0	0.0	-6.6	0.0	-3.3	0.0	-16.6	-10.0

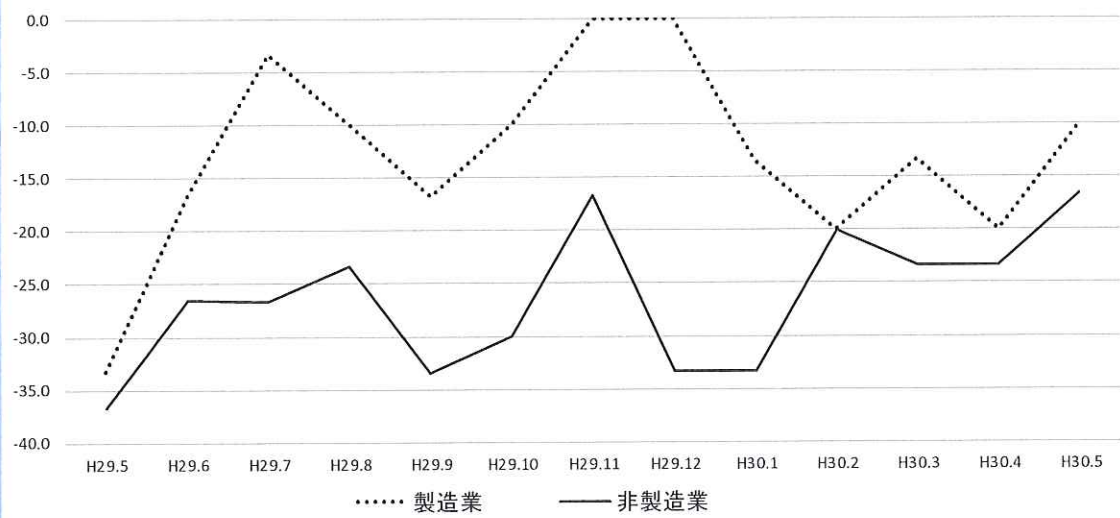
非製造業	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5
売上高	-30.0	-20.0	-26.7	-16.7	-23.3	-26.7	-10.0	-23.4	-46.7	-6.7	-23.3	-10.0	-10.0
収益状況	-36.7	-26.6	-26.7	-23.3	-33.4	-30.0	-16.7	-33.3	-33.3	-20.0	-23.3	-23.3	-16.6
業界の景況	-26.7	-30.0	-33.3	-20.0	-23.4	-16.7	-23.3	-36.7	-36.6	-26.6	-30.0	-20.0	-23.4



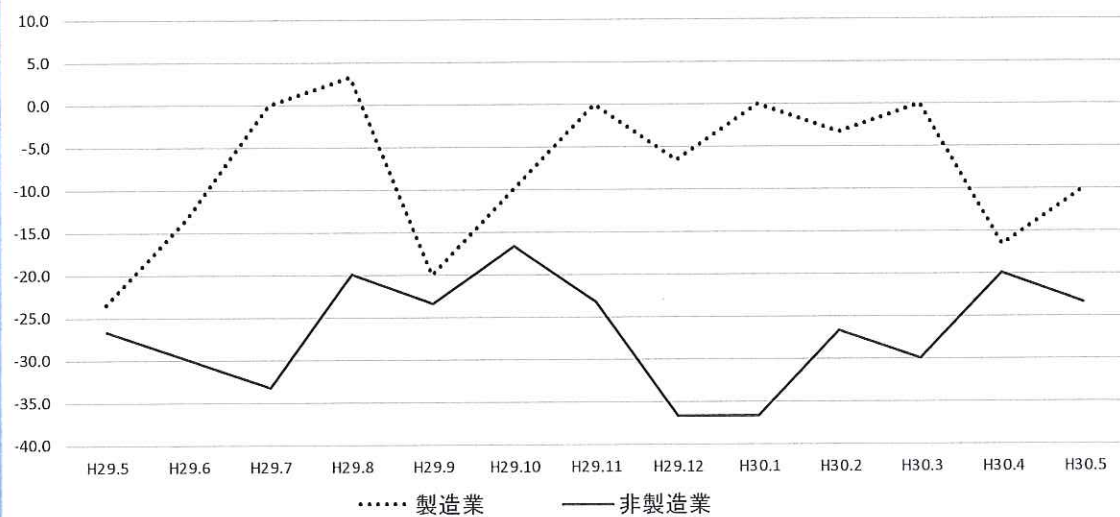
【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



# D I 値 (前年同月比) 情報連絡員報告 平成20年5月～平成30年5月

このD I 値は県内の地域、業種を代表する組合役職員60名の情報連絡員から寄せられた景況等に関する情報の一部を表したものです。

